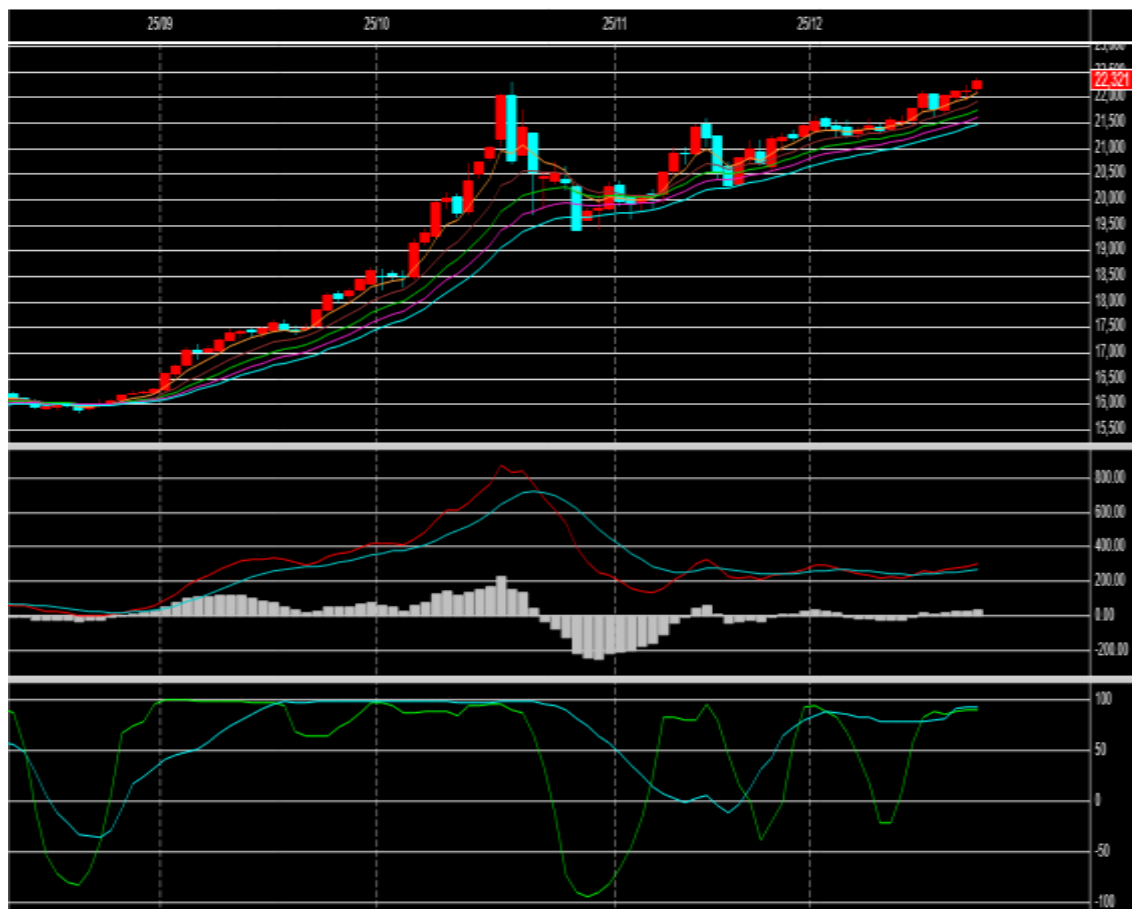


<金標準、史上最高値を更新し、青天井相場の様相・・・>



(出所：オアシス)

日銀は金融政策決定会合では、政策金利を 30 年ぶりの高水準である 0.75%へ政策メンバー全員一致で引き上げている。しかし植田日銀総裁が記者会見で景気を刺激も抑制もしない中立金利について踏み込んだ見解を示さなかった。米国では FOMC 前にハト派の発言を示し、利下げ確率を押し上げたウィリアムズ NY 連銀総裁が「現時点で金融政策に関して一段と行動を起こさなければならないという切迫感を、個人的には感じていない」と発言しており、市場では日銀の明確な利上げ継続もなく、FRB は静観するムードが強まり、週末の為替は一時 157.78 円まで円安が進む動きを見せている。

そのため金標準先物は、ウクライナ情勢で和平交渉の進展期待にリスク逃避需要が後退するも円安の効果を受け、円建て価格は史上最高値の 22288 円を週末に更新し 22387 円まで買われている。また米国とベネズエラの軍事的衝突の可能性は否めないことから、クリスマスに向けた高値追いの展開には注目した方が良いと思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が切り上げだし、シグナルも切り上げだしている。RCI は短期と長期が高止まりを見せている。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジを維持しながら高値追いをしており、更なる高値追いの動きに注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 1,920,000 円(2025 年 12 月 22 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 116,160 円(2025 年 12 月 22 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>